

令和四年

松香 Komunikado

令和四年一月度 新年祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Felicitan Novjaron

あけましておめでとうございます。本年も相変わりました。よろしくお願い致します。

ただいまは、松香分苑の令和四年新年祭を遠方からのご参拝もいただき、にぎにぎしく祭典を斎行させていただきました。誠に有難く思います。ご奉仕くださいました皆様方、又本日参拝いただけなかった方も、オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださり、誠に有難うございました。

本日は三点お話しさせていただきます。一つ目は今年度の松香分苑の活動方針について、二つ目は大道場修行について、最後に人型の御用についてお話しさせていただきます。

教主様の新年ごあいさつが「みろくのよ」誌一月号に掲載されております。その抜粋でございますが、「本

一月九日発行

第二百八十六号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・十二

電話 ファックス

〇五三二・六三・二七三

発行責任者 山本 健

年は開教百三十年を迎えます。昨年かひしの辛丑は終わりと始まりを意味し、痛みを伴い何かに終止符が打たれながらも、同時に新たな息吹が感じられる一年と申して「ま」まと申しますが、松香分苑においてもまさに当てはまる年でした。皆様方には相談役の件で御祈願など大変お世話いただき誠にありがとうございました。相談役は平成八年に松本先生が御昇天になられた時に心肺停止で倒れてから、ずっと体の苦しい状態が続いておりました。松香分苑の信徒のめぐりの霊が松本先生から相談役に移ったからと申しておりました。そんな身体でありながら、私たちのお取次ぎ御祈願そして親切のありったけのお世話を尽くしてくれました。霊界物語の拝読も五十回以上になり本人は死ぬまでに百回拝読したいと申しておりました。物語は拝読するたびに新たな気づきがありおかげを頂けると申していました。残り私の目標として引き継いでいきたく思っております。相談役の倒

れた後の半年間皆様には必死の御祈願お取次ぎそして
ご神書拝読等真心でしてくださいましたが、これも相談
役が「今後もお世話活動の中で病気の方や悩みをお持ち
の方々にぜひ継続して下さい」と示してくれたものでは
ないかと思っております。私もそれ以後、神文拝読を毎
日欠かさず何回も奏上することをお取次ぎの後に継続
して行っております。

お取次ぎ、御祈願、ご神書拝読、神文奏上そしてお世
話活動など、こうした信仰の姿が初代松香分苑長の松本
先生から引き継がれた松香の文化と思えます。相談役が
最後に体を張って我々に教え残してくれたものであり、
ぜひ皆様と一緒に継続していきたいと思えます。

教主様のご挨拶に戻りますが、「本年の干支、壬寅
みずのえとら
年は、発芽前のまだ目に見えない新しい生命が胎動して
いる春への準備の状態で、"新しくものごとが始まる"
ことを表すとともに、春の胎動が大きく花開くためには
地道な自分磨きを行い、**実力を養う**必要があるというこ
とを意味するそうです。四代教主様は『二十一世紀は本
物だけが生き残る時代に入っていくだろうと思えます。
時間をかけて次第に人間そのものは勿論、農業、科学、医
療等、すべての分野で諸々のよこしまなものが、淘汰さ
れて本物のみが残っていくように思います。』とお示し
くださいましたが、今まさにそのような時代に近づきつ

つあるのではないでしうか。」とご挨拶の中でお示し
くださっております。宣伝使の方は特に、生活の軸足を
ご神業において、神第一の生活にしていきなさいとのお
示しと思わせていただきました。

こうした教主様のご挨拶を受けて松香分苑参事会に
て、本年度の当分苑の活動方針を検討した結果、原点に
返って、大項目を内実化と**対外宣教活動**、更に今後の継
続テーマとして松香分苑の文化継承の三つとさせていただきます。
詳細は次の通りでございます。

〈令和四年度 松香分苑活動方針〉

一、内実化

(1) 全員参加による活性化

- ① 新サルトン（仮称）の実施…月次祭での
ミニ講話を信徒の皆様を持ち回りで担当し
ていただく

詳細の企画・推進担当は藤澤充康様をお願い
しています

- ② 一人一役で皆それぞれが、何らかの御用を担
当し、皆で分苑を維持発展していきましよう

(2) 勉強会 (ZOOM) の継続実施拡大…

- ① 短歌…佐々木先生の御指導月一回
- ② 健康講座…伴東洋治療院先生他
- ③ 圃農業講座…小久保岳視様

④ 圃エスぺラント講座・令和五年九月の大本エ
スペラント百周年にむけて

皆様のご提案を受けて随時増やしていきます
ので、ご参加と新規起案をお願い致します。

(3) 圃他機関との交流・青年部の活動の盛んな機関
を、青年部と希望者で訪問したい。
候補・出雲本苑等、神戸本苑等、今後さらに調
査していきます。

二、対外宣教活動

(1) 具志堅幸司日体大教授の講演会・

別途企画推進体制構築予定

具志堅様は令和三年四月まで四年間日体大の
学長をされておられました。

(2) 松香分苑ホームページの再開・

企画担当、岸本様

三、松香の文化継承（毎年継続の日常のテーマ）

お取次ぎ、御祈願、ご神書拝読、神文奏上等、親切の
ありつたけを尽くしたお世話活動

これらは、初代分苑長の松本松子先生はじめ、山本文
子相談役が徹底してされていたものであり、日常化
して松香分苑の文化としましょう。

以上が、令和四年度の松香分苑活動方針でございます
ので、ご協力よろしくお願い致します。

〈大本大道場修行受講のすすめについて〉

自分磨き、内実化には、聖地での道場修行が一番です。
今年の正月の初道場修行に高柳智也様が受講されまし
た。正月、五月、八月等の連休を活用して、今年はずひ
家族皆で受講しましょう。その際は、声かけあつて受講
できればと思いますので、よろしくお願い致します。

〈人型活動について〉

人型活動もコロナで難しくなっておりますが、一年に
一人でも新しい方ができるよう、皆で協力し合つて御用
に努めましょう。

以上がご挨拶でございます。有難うございました。

Koran dankon

宣教部

宣教師長 塚田 照子

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願い致します

★お玉串について

本部の四代大祭、松香分苑、各分所支部の月次祭及
び、お誕生月には感謝のお玉串をしましょう。

☆月次祭に当日参加できない方も、玉串をさせて頂き

大神様のご加護を頂きましょう。

玉串の送金は会計の小久保様にお振込みください。